



2026年7月30日

各 位

上場会社 菊水ホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 小林 一夫
 (コード番号 6912)
 問合せ責任者 常務取締役管理本部長 齋藤 士郎
 (TEL 045-482-6912)

第2四半期（中間期）及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年5月15日に公表いたしました2027年3月期の第2四半期（中間期）及び通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想の修正（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 （ A ）	6,600	850	960	640	76.95
今 回 修 正 予 想 （ B ）	7,600	1,220	1,280	830	99.67
増 減 額 （ B － A ）	1,000	370	320	190	
増 減 率 （ % ）	15.2	43.5	33.3	29.7	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2026年3月期第2四半期）	6,598	844	959	622	74.90

修正の理由

当社グループは「パワーエレクトロニクス分野の評価及び測定ソリューション」をテーマに、eモビリティ、次世代エネルギー、パワー半導体、データセンターの4市場を重点市場として位置付け、国内外の顧客ニーズに即したソリューションビジネスを積極的に展開してまいりました結果、売上高は、海外売上高がデータセンター関連市場及び宇宙産業市場において好調に推移し、全体的には、車載関連市場及び半導体関連市場等における設備投資需要を取り込んだこと等より、前回予想を上回る結果となりました。

損益面につきましては、海外製品の仕入コストの増加及びベースアップ等による人件費の増加等があったものの、売上高の増収により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益はいずれも前回予想を上回る結果となりました。

2. 2027年3月期通期連結業績予想の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 （ A ）	14,700	2,150	2,300	1,620	194.67
今 回 修 正 予 想 （ B ）	15,700	2,520	2,620	1,810	217.35
増 減 額 （ B － A ）	1,000	370	320	190	
増 減 率 （ % ）	6.8	17.2	13.9	11.7	
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	14,687	2,135	2,270	1,609	193.38

修正の理由

通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、上記のとおり修正いたします。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上